

令和4年度 福岡県立久留米聴覚特別支援学校グランドデザイン

- 校訓 和（建設的に意見を出し合いながら互いに調和を図る。）
 希望（思いを抱いて未来に期待する。）
 自立（自己の障がいを正しく認識し、将来の自己実現に向けてたくましく生きていく。）

■学校運営方針

子供や保護者のニーズに応じた専門性の高い教育を提供し、挑戦する意欲や規範意識、自己肯定感、社会性、学力・体力を有する聴覚障がいのある子供(パワフルキッズ)を育成する。そのために教職員自らが子供に対する深い愛情と主体性、向上心を持ち、教育力向上へのたゆまぬ努力を続ける。

■本校の将来ビジョン（目指す学校像）

- 聴覚障がい教育の専門性を継承・発展する学校
- 幼稚部・小学部・中学部の一貫した継続性のある指導及び支援をする学校
- チーム学校として協働できる教職員を育成する学校



■学校教育目標

一人一人の可能性を最大限に引き出し、子供たちが聴覚障がい者としての自信と誇りを持ち、自ら考え判断し、主体的に課題に取り組み行動することができる力を育む。

学力・体力の向上

- 「生きる力」の育成を目指した主体的・対話的で深い学びの実現
- 学力向上のための授業改善
- 読書活動の推進
- ICTを活用した教育の推進
- 外国語・外国語活動の充実
- 県内外の競技会への積極的参加及び運動活動の推進
- 遊ぶ時間の確保

言語力・コミュニケーション力の向上

- 日本語の読み書き力の向上を目指した授業改善
- 「話し合い」活動の充実
- 「言葉の時間」の充実
- 豊かな手話表現習得を目指す場の設定
- ろう者や聴者と関わる場を通じたコミュニケーション力の育成
- 体験活動の推進

障がい認識・自己肯定感・規範意識・社会性の向上

- 障がい認識を育む教育の推進
- キャリア教育、人権教育、道徳教育、食育の充実
- 生徒指導の充実（いじめ問題、薬物乱用、SNS対応等を含む。）
- パワフルキッズタイムの充実
- ライフスキル教育の実践
- 鍛ほめ福岡メソッドによる指導の充実

乳幼児教育相談・保護者支援の充実

- ・子供の年齢や個別の実態に応じたグループ指導と個別指導の充実
- ・保護者教室・保護者手話教室の充実
- ・早期発見、早期支援のための理解啓発活動の充実
- ・医療(耳鼻科、産科)や保健福祉関係機関・部局との連携
- ・県内他校との連携

学校の教育力・教員の専門性の向上

- ・学校教育研究の充実
- ・個々の教員の実態に応じた校内研修の実施と外部研修会への参加
- ・教科指導や言葉の指導等に関する教材・教具の整備・充実
- ・福岡県聴覚障がい教育研究協議会の活性化
- ・小・中学校関係の研修会への参加

関係機関等との連携強化

- ・聴覚障がいや他障がいへの対応のための医療機関や専門家との連携
- ・「NPO 法人言葉の森くるめ」との連携
- ・SC等専門家の効果的活用
- ・児童虐待等に係る児童相談所等福祉機関・部局との連携
- ・同窓会やPTAとの連携
- ・授業参観日・学校公開デーの設定

安心・安全な学校づくり(緊急対応・危機管理体制の強化)

- ・危機管理マニュアルの充実（自然災害、不審者、医療的ケア、事故、病気、給食異物混入等対応）
- ・防災リュック、防災グッズ等の整備とシミュレーション訓練の実施
- ・子供の心や身体の状態の日常的な把握
- ・保護者や関係機関との連携
- ・いじめ問題や児童虐待、体罰等への適切・速やかな対応